

僧帽弁閉鎖不全症に対する新たなカテーテル治療 マイトラクリップ (Mitra Clip)

循環器内科 副医長 三浦 勝也



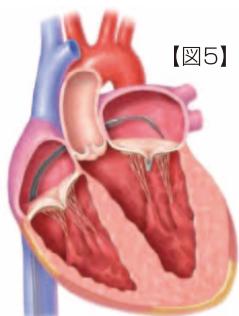
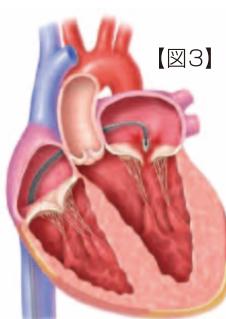
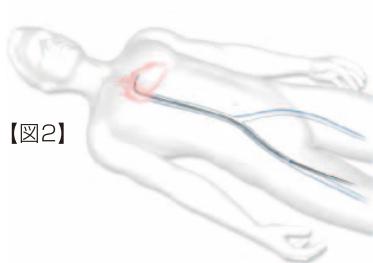
当院に僧帽弁閉鎖不全症に対する新たなカテーテル治療法である『マイトラクリップ (MitraClip)』が導入されることとなりました(図1)。この治療は 2005 年にヨーロッパで始まり、世界中で既に 10 万人以上に対して施行されています。日本では 2018 年に実施可能となり 5000 人以上の方がこの治療を受けられています。



[カテーテルによる低侵襲の治療]

この治療ではカテーテルを用いて小さなクリップを心臓内に挿入し、閉鎖が不十分になっている僧帽弁をクリップで挟み込むことで逆流を制御します (図2~5)。

治療の際に開胸や人工心肺を必要としないので体への負担



が少なく、手術リスクが高い方が主な治療対象となるのが特徴です。この治療を行うことで全身の血流が増加し、息切れ症状の改善、心不全入院の回避、心臓機能の改善が期待されます。また従来の開胸手術と比較して身体への負担が少なく、手術を行った翌日から歩いてリハビリテーションを進めていきます。

これまで年齢や持病のために手術のリスクを懸念されていた方や手術が受けられなかった方々に新たな治療法を提供できればと考えています。

[僧帽弁逆流症ってどんな病気？]



僧帽弁逆流症とは、心臓の中にある扉（弁）の一つである僧帽弁がうまく閉じることができないために左心室から左心房へと血液が一部逆流してしまう状態で、これにより全身の血液循環の効率が損なわれてしまいます (図 6~8)。僧帽弁逆流の程度が大きければ、労作時の息切れや呼吸苦、むくみなどが自覚されるようになります。

[これまでの治療方法は？]

僧帽弁逆流症の治療にはこれまで薬剤による治療や外科的な開胸手術が行われてきました。薬剤での治療では、心不全を軽減させますが、逆流を来たしている弁自体を直接治療できるわけではありません。根治的な治療としてこれまで外科手術が行われてきましたが、高齢者や他に持病がある場合など手術のリスクが高ければ実施が難しいことがありました。



心不全センターについて

心不全センター長 後藤 賢治



[スタッフ]

組織にとって人は宝です。その宝が重なり合って、絶妙なチーム医療を提供する、これが福山循環器病院・心不全センターの理想です。

私たちは、週に一回のカンファレンスで忌憚のない意見を出し合って心不全チームを高めています（上写真）。

特に今年は心不全のわかる本を刷新します。

慢性心不全看護認定看護師の池田さん、心不全療養指導士の越智さん（理学療法士）、岡本さん（管理栄養士）、平林さん（臨床検査技師）が中心となって活動してくれています。

看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、臨床検査技師が私たちの言葉で皆さんの中に話しかける素晴らしい本ができそうです。楽しみにしておいてください。

[近隣の先生方との連携]

心不全は地域でみていく以外に解決方法はありません。近隣の病院の先生方にはいつも温かいご支援をいただいており、心より感謝いたします。

地域連携室の小松さん（看護師）を中心にコロナ禍の合間を縫って挨拶に伺っております。今後も直接出向かせていただき、フェイストゥフェイスの連携を図りたいと思います。

私たちの病院と地域の病院が近くなければ、患者さんに及ぼすメリットは計り知れないと信じています。

[さいごに]

医療には教科書があります。しかし、その通りにしても百点満点の治療ができるわけではありません。服を選ぶのに、予算、身長、性別、年齢を考えるのと一緒にですね。

私たちは皆さんとの会話から価値観を共有して、温かい治療を目指していきます。

長い旅路ですが、一緒に心不全治療をしていきましょう。

一般社団法人
日本循環器看護学会
<https://www.jacn.jp/chronic/>

慢性心不全看護認定看護師

慢性心不全看護認定看護師

2021年度
認定看護師
スクール

病院・施設・在宅における
心不全看護指導のProfessional

心不全療養指導士

心不全療養指導士は、
様々な医療専門職が質の高い療養指導をし、病院から在宅、
地域医療まで幅広く心不全患者をサポートすることを
目指して取得する資格です。

<https://www.j-circ.or.jp/chfcj/>

慢性心不全看護認定看護師について

慢性心不全看護認定看護師 池田 妙子



【 ごあいさつ 】

【心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起り、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。】と、定義されています。簡単に悪くならないように、しっかりご自身で予防を行うことで、〈だんだん悪くなる〉という進行に歯止めをかけることができます。しかし、その予防を日常生活の中

認定看護師について

Certified Nurse

ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有する者として、日本看護協会の認定を受けた看護師

慢性心不全看護認定看護師の役割

- ▶ 安定期・増悪期・終末期の各病期に応じた、生活調整及びセルフケア支援
- ▶ 心不全増悪因子の評価およびモニタリング

(公益社団法人 日本看護協会より)



後藤医師・専門職とミーティング

で「続ける」ことは簡単なことではありません。

私は「慢性心不全看護認定看護師」として、患者さん一人ひとりに向き合い、患者さん自身がご病気を理解し、予防行動を続けられるようにサポートさせて頂いております。

【 当院での仕事内容 】

中心的な役割は、心不全外来の診察前に症状や生活状況、お気持ちなどをお聴きした後、その内容を医師と情報共有し、診察後には日常生活での注意点についてお話しすることです。

【 大切にしていること 】

認定看護師4年目に看護専門学校での教員を経験しました。この経験により、学生さんをサポートする側として「こうでなければならない」という、枠にはまった方法ではなく、相手の気持ちや考えを大切にすることを学びました。それは、患者さんやご家族をサポートさせて頂く上での糧となり、一人ひとりの学生さんと、目的を共有し常にご相談させて頂いた医療従事者の方にはとても感謝しています。

【 日々の想い 】

私の役割を最大限発揮するための環境を常に配慮してくださる看護部、後藤医師をはじめ担当医師、他専門職や事務職の方々の温かさに感謝しながら、使命を全うしたいと思います。



病棟でのカンファレンス風景

管理栄養士
岡本理学療法士
越智臨床検査技師
平林

心不全療養指導士について

栄養管理課 課長 岡本 光代

[心不全療養指導士って？]

日本循環器学会認定の2021年度から開始された資格です。この制度は、超高齢社会を迎えて心不全患者が急増している現状を踏まえ、心不全の発症・重症化予防のための療養指導に従事する医療専門職に「必要な基本的知識」及び「技能」など資質の向上を図ることを目的として創設されました。

[受験勉強は大変！]

心不全センターでのカンファレンスで検討を重ねるごとに、「知りたいこと」「やりたいこと」が増えはじめ、5年後の自分に自信を持てるよう、同じ志を持つ臨床検査士の平林主任と2022年第2回の試験を受けることを決めました。

受験勉強は本当に大変でした。時間の確保と頭の悪さ。覚えて忘れる地頭に嘆いても仕方ないと思い直しての繰り返

し。特にカタカナと数字の多い心臓リハビリは「わからんわからん」の連発で、理学療法士の方々には質問にならない質問をしていました。

看護師さんや薬剤師さんにも質問の連続。嫌な顔をせず教えて頂いたことに感謝しかありません。

[自慢の心不全センターをご紹介]



心不全センター長の後藤先生。福山市内ではただ一人、慢性心不全看護認定看護師の池田さん。心不全療養指導士は、第1回の試験で取得した理学療法士の越智課長。さらに広島県内では初めての合格者、臨床検査技師の平林主任と管理栄養士の私を含む3名が在籍しています。

また、心不全の患者さんをサポートしたい気持ちを持つ、たくさんの医療専門職で構成しています。

今後も「患者さんを安心させること」を目的に、活躍できたらと考えています。

編集後記

今回発行の光彩からイメージを一新したものを作りました。

これまで以上にたくさんの方々にメッセージをお届けできるよう頑張ります。

ホームページも新たに更新しておりますので、ご覧ください。
広報委員 松本 勉

福山循環器病院

検索

外来診察表

受付
時間

平日 8:30～11:30 (但し、新患の受付は10:30までです。)

※再診予約の方へ

・受付は午前11:30までです。

・受付時間以外の時間帯にはお受けできません。

・待ち時間が長くなることがあります。ご了承下さい。

2022年4月1日付

		月	火	水	木	金	土
午前	1 新患・初診・再診	治 田	竹 林	竹 林	向 井 (心臓血管外科)	治 田	—
	予 紺	後 藤	治 田	菊 田	治 田	後 藤	
		平 松	小 林	平 松	平 松	小 林	
		向 井 (心臓血管外科)	—	—	佐 藤	谷 口 将	
		森 元 (心臓血管外科)	—	—	二 神 (心臓血管外科)	—	

午後は受付しておりません。予約の方のみの診察となります。

		月	火	水	木	金	土
午後	1 予 紺	向 井 (心臓血管外科)	菊 田	木 村	小 澤	—	—
		—	谷 口 将	平 松	佐 藤	—	